

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	スーパー（店長）	・周辺環境、特に福山駅周辺の開発整備も徐々に整いつつあり、これに伴い客の動きも増加している。これにあわせて、売上も上昇傾向をみせており、当分この状況が続く。
		家電量販店（店長）	・10月1日から地上デジタル放送が開始されるにあたって、薄型テレビへの買い換え需要その他新規購入客も増加する。
		一般レストラン（経営者）	・今月はサッカーワールドカップがあったものの、来客数、売上、客単価すべて前年比をクリアした。3か月連続の前年比クリアは3年ぶりのこととなった。この状態は、もう少し維持できる。
やや良くなる		スーパー（店長）	・現在、売上が前年比104%くらいで継続しており、しかも月を追うごとに1%くらいずつ良くなっているということ、今後もこのままやや良くなっていく。
		スーパー（店長）	・客単価の上昇傾向は継続中で、少しグレードの高い商品の動きが良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・7月にこのエリアでコンビニエンスストアの新規出店が4店あり、8月には倒産した店の後の開店も決定しており、出店数が売上増に寄与する。また現状の既存チェーンの中での商談がうまくいっているため、夏以降は良くなる。
		家電量販店（店長）	・岡山地区のデジタル放送が12月に開始される。その前宣伝が浸透しつつあり、薄型テレビが売れる。
		家電量販店（予算担当）	・天候要因を除けば消費マインドは拡大基調にあると感じており、大きなマイナス要因も見当たらない。他方で地上デジタル放送の開始が10月～12月にかけて始まるのは大きなプラス要因である。
		乗用車販売店（統括）	・標準の商品よりさらにいろいろなオプションの提案がマーケット全体に行き渡りつつあり、しばらくその効果が期待できる。
		一般レストラン（店長）	・メニュー変更で原価を下げて売価を上げて安定した集客があり、利益体質になった。明るい兆しがみえる。
		都市型ホテル（従業員）	・宴会の予約目的の中で、企業の周年行事や設立パーティーが見られるようになった。個人消費の拡大はまだ先かもしれないが、期待できる。
		都市型ホテル（総務担当）	・一般宴会等の受注状況からは、引き続き景気回復基調にはあるものと判断される。ただし宿泊についてはまだ動きは鈍く、不安定材料ではある。
		旅行代理店（経営者）	・旅行人口そのものは増加すると思われるが、競争激化のため単価、利益率が低下している傾向が続く。企画力を充実させて生き延びていかなくてはならない。
		タクシー運転手	・これからの夏場は昨年も夜の客の動きも良かったし、観光等の予約も順調に推移している。
		通信会社（社員）	・夏に向け、新機種、新サービスが始まるので、今月よりはやや良くなる。
		通信会社（通信事業担当）	・地上デジタル放送の問い合わせも増え、同時利用で割引のある通信サービスに関する問い合わせや、加入の増加も見込めそうである。
		テーマパーク（財務担当）	・夏休み時期を迎えるため、イベント等も充実し、今月より良くなると思われるが、大きく良くなるとは見込めない。地元企業への営業活動により、団体の取り込みを中心に増やすことで来客数を伸ばす。
		テーマパーク（業務担当）	・夏季・秋季の催物については独自にイベント・広報を展開するため、近隣博物館との良い意味での差別化が図れるのではないかと。
住宅販売会社（販売担当）	・イベント、展示場、売出しへの来場者数が、前年比1割強伸びているため、これからの成約増加に期待できる。		
変わらない		商店街（代表者）	・商店街として、空き店舗のあっせんなどを告知しているが、新規に入る店は当面はありそうにない。ただし、ライブハウスが移転開店し、通行する年齢層に若干の変化がみられてきた。
		商店街（代表者）	・お客様の様子に不透明感、先行き不安といったようなものが感じられる。将来にもまだまだ楽観視できないという状況で買物しているようでこの状態が続く。
		商店街（代表者）	・客は衣料品購買時には季節のものを買物する傾向が強く、その場の判断で購入するので、9月になっても、秋冬物はまだ購入しないのではないかと。

百貨店（営業担当）	・ガソリンの値上げが生活雑貨にかかわってくることが予想され、客は様子を見ている状態である。夏物バーゲンになっても短期で終わりそうである。
百貨店（販売促進担当）	・次月以降、セールと中元が大きな柱となるが、セールについては現状の苦戦も加わり、取引先の生産調整もより厳しくなっており、後半戦の商材不足が想定される。中元についても、早割の動きも前年を下回っており、今後の回復は期待できず、商況が一転する兆しはみえてこない。
百貨店（販売促進担当）	・セール（7/1～）に期待しているが、本格的な夏を実感できれば、夏物ももう少し伸びてくる。ただし景気が悪くなるとは思わないが、良くなると思える材料がない。
百貨店（売場担当）	・7月・8月についても長期予報的には天候不順の様相を示しており、当店のような駅前立地のご年配のお客様が多い百貨店は天候不順に弱い。また、夏のクリアランスも年々パワーダウンしてきている。
百貨店（売場担当）	・気温の影響からか、夏物の動きが鈍く、長そでや羽織る物を探す客が多い。また、バーゲン待ちの客が少ないのか、プロパーで購入する客が目立つ。このまま気温の上昇がないと、バーゲンが心配される。
百貨店（購買担当）	・各アパレル業界の秋冬物の展示会が既に終わろうとしているが、その傾向は昨年のトレンドとほとんど変化がない。客も目新しい物を探してはいるが、供給的には変わらないということで、こちらの対応も難しくなる。クリアランスセールにおいても、財布のひもは固く本当に必要な物しか購入しない傾向は変わらず、この厳しい状況も今後しばらく続く。
スーパー（店長）	・原油高による各種燃料の高値安定、また原材料の値上がりに伴う製品価格の値上げも出てきている。公共事業費の削減による建設土木事業の仕事の減少による雇用不安もあり、消費マインドの上向きは感じられない。
スーパー（店長）	・今月は競合店の閉店等で状況は好転しているが、原油価格、ガソリン代等の影響で今後の見通しとしては難しい。今月と変わらないか、やや悪くなるくらいでいくのではないかとと思われる。
スーパー（販売担当）	・天候により野菜の収穫にも関係するが、農家の客の購入も予想され、今とあまり変わらない。
コンビニ（エリア担当）	・依然、他社との競争は厳しい部分は変わらないため、景気が良くなる事はない。
衣料品専門店（店長）	・何かイベント的なものがあればある程度の集客はできるが、1か月、3か月、1年と平均してみたときに、安定した景気の回復というのはまだまだ感じられない。
衣料品専門店（販売促進担当）	・天候しだいで夏がいつまで続くかが問題だが、最近はDM等の販促に対しての反応が薄れている。
百貨店（営業担当）	・ボーナス・中元商戦に本格突入するが、都市間競争で既に遅れをとっているため苦戦が強いられる。
乗用車販売店（販売担当）	・公共事業の減少が引きがねになり、エリア内の景気が相当悪くなっているため、車の買い控え傾向が今後一段と強くなってくる。
乗用車販売店（営業担当）	・商品的好材料もなく、来場者数増も見込めない中、現在当社では、既納客代替需要拡大を目指して、提案活動強化に力を入れている状況である。
自動車備品販売店（経営者）	・不安定な要素はあるが、タイヤ、バッテリー等の補修系、オイル交換等のメンテナンスサービス部門は堅調に推移しているため今後の動きを見守りたい。
その他専門店〔スポーツ〕（店長）	・現時点でセールもスタートしているが、売上が上がっていない。来客数も減少しているため景気は変わらない。
その他専門店〔書籍〕（従業員）	・注目商品も少なく、厳しい状況はしばらく続く。
その他専門店〔カメラ〕（地域ブロック長）	・写真業界はデジタル化により、ここ数年非常に大きな転換期を迎えており、まだまだ先行きが不透明である。この数か月の傾向は従来と変化無く、2～3か月で大きく変動するとは考えられない。
その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	・強い上昇傾向にあるため、これを永続して維持するのは難しい。収益力に課題はある。
観光型ホテル（スタッフ）	・過去3か月、これからの3か月の来客数等を見ても、変動が見受けられない。

	タクシー運転手	・会社関係のサラリーマンの利用が以前より増加してきたように感じる。全体では景気が少し上向きになっているように感じるが、タクシーにおいては増車の影響もあり、横ばい状態が続く。	
	通信会社（企画担当）	・ブロードバンド化・光サービス化は、徐々に進行しているが、弊社のコアマーケットである地方中都市での動きはまだ鈍い。回線の高速化にのった新商品・サービスの利用もまだまだなので、単価上昇の動きが見えるとはまだいえないので、今年一杯は目に付く変化はない。	
	美容室（経営者）	・同業者にも、あまり良くないという話が多い。	
	設計事務所（経営者）	・公共工事の絶対量はやや上向いていると思われるが、単価の上向きにはまだまだ至っていない。社会全体としては良くなっているようだが、建築関係への反映はまだ遠い。	
	設計事務所（経営者）	・前年より多くの工務店が倒産した話も耳にする。これからも建築工事の受注件数がすぐに増加するとは思えない。	
	住宅販売会社（従業員）	・客の意見、要望等を聞く限りにおいて、受注量に変化する兆しは見受けられない。	
	住宅販売会社（経理担当）	・既存物件のモデルルーム来場者数が減少傾向にあり、新規発売物件も小規模であるため契約戸数の増加が期待できない。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・商店街の特徴であるアーケードが暗い。また、高齢化による閉店も加速し、今後難しい状況が続く。	
	一般小売店〔靴〕（経営者）	・地方商店街はどの業種も非常に厳しい状態がしばらく続いている。1年前に地元の大きな会社が倒産し、昨日も別の会社が倒産するなど先行き非常に厳しい。	
	スーパー（店長）	・ここ3か月で客の買上点数が確実に減少している。一品単価の回復がなかなか見込めないで、今後も同じような状況で苦戦が続く。	
	コンビニ（エリア担当）	・競合店の出店やスーパーの時間延長が増えており、前年比割れに歯止めがかからない。	
	衣料品専門店（地域ブロック長）	・例年に比べ、気温の上昇が遅れぎみになっている。盛夏での販売期間が短くなると予想されるため、やや悪くなる。	
	観光型ホテル（経理総務担当）	・都市部に比べ、地方ではまだ好況感は乏しく、財布のひもはかたい。原油価格の上げ止まりによる物価上昇への防衛本能が表れてくるのではないかと。	
	通信会社（管理担当）	・番号ポータビリティ実施前の買い控えが予想され、販売台数が縮小する。	
	通信会社（販売企画担当）	・番号ポータビリティの導入を控えて、シェアの変動がある。	
悪くなる	商店街（代表者）	・通行量が激減している。近くにあった全国チェーンのファーストフードの店も2店撤退し後の見込みもない。	
	一般小売店〔印章〕（営業担当）	・1月の下関駅舎火災後、8月の花火大会に備えて駅の大通りが整備され仮店舗ができる。しかし、旅行者、案内所など駅機能を優先させるため、当社は前の大通りへの出店ができず、名店街の裏の仮店舗のままのため、長期的な売上減が予想され大変厳しい。	
	百貨店（売場担当）	・全商品群で売上が減少してきており、上向きな商品群がない。取引先の急激な在庫調整との戦いとなっており、客に十分に魅力ある商品が提供できない状況が続く。	
	スーパー（財務担当）	・相変わらず競合店の出店が多い。	
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・クライアントからの受注量は、この先も上向きになっていく予定で、景気は上向いている。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・生産部門は受注量好調、技術部門は次期新製品の開発工事が活況に入り、今後、全社的に高い操業率が継続する。
	やや良くなる	金属製品製造業（総務担当）	・得意先へ不採算品の値上げ要求を行っており、ある程度は受け入れてもらえるようである。弊社では原料の高騰、得意先では受注増による納期対応がその背景にある。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・国内海外ともに自社製品の売上が順調に推移しており、今後も続く見通しである。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・主要ラインの自動車関連・携帯関連・白物家電（特にエアコン）ともすべて向こう3か月フル操業の受注が入っており、派遣・社員募集も集めにくい状況と重なり、生産達成が困難な状況となっている。
	輸送業（統括）	・輸送業と併せて書類等の保管業務もやっているが、金融庁の監査などで書類保管のセキュリティなどで指摘を受けた企業の改善のため、こちらのアウトソーシングが増える。	
変わらない	鉄鋼業（総務担当）	・鋼材需要は引き続き堅調に推移しており、当面は続く。弊社としてもフル操業が続く。	

	建設業（経営者）	・今春の採用に関しては、団塊の世代の退職に伴う採用も多 くあったようで、将来的には我々の業界にも波及するかも 思われるが、現段階では建設不動産は全く良い材料がな く、悪いまま推移していく。	
	通信業（営業企画担 当）	・企業ネットワークの更改、高度化などの引き合いはまだ活 発と言えるレベルになく、むしろ低調と言える。ユーザ側も インターネットを核にした各種サービスの動向を、まだ慎重 に見定める意向がある。	
	通信業（支社長）	・今後も光電話の需要は伸び、その方面の投資は好転する が、その他は期待できず抑制の方向にある。全体では横ばい となる。	
	金融業（業界情報担 当）	・米国経済の減速や原油価格の高止まりなどから景気の先行 き不透明感が強まっているが、欧州やアジア向け輸出は堅調 に拡大しており、当面は高水準の受注が続く。	
	金融業（営業担当）	・大手企業の関連については、受注量、仕事量ともに問題な いと思われる。ただし、郡部圏の建設業は相変わらず公共事 業頼みなのだが、広域合併により、郡部への公共工事の受注 競争が非常に激しくなっており、この点から工事がまわって こないという状況が続く。	
	広告代理店（営業担 当）	・新聞広告の出稿は大体半月～1か月前に申込があるが、 7・8月の予約紙面は東京からの大企業のもの以外にめぼし いものはなく、地場企業はほとんどゼロである。	
	会計事務所（職員）	・公共工事が期待していたように出ていない。そのため、工 事業はもちろんのこと納品関連の業界も予想外の売上高の伸 び悩みに直面している。中小零細企業では、現状では、期待 していたほど利益が出ていないし出てくる見込みもない。ま た、タクシー業界では、許可制から届出制になった規制緩和 の影響がじわりと効いてきている。	
	その他サービス業〔清 掃具レンタル〕（情報 管理担当）	・健康・快適に関連する商品の動きは良く、一部の層での上 向きは感じるが、全体は変わらない。	
やや悪くなる	食料品製造業（総務担 当）	・大口のOEM取引先に関して先行きどうなるかわからない 状況で、在庫を持つこともできず、来年、2～3か月先もみ えず、不安に感じている。	
	窯業・土石製品製造業 （総務経理担当）	・現在の生産量水準は非常に高水準であるが、各地の建設案 件も一段落する見込みである。そのため2～3か月後の生産 水準もある一定水準と考えるが、現在よりも低くなる。	
	輸送用機械器具製造業 （総務担当）	・受注量、生産高ともに横ばいの状況が続くと思われるが、 原材料などの調達価格は高止まりのままであり、社会保険料 の負担増あるいは退職給与の支払い等コスト負担の要因が多 く、厳しさは一層増大してくる。	
	輸送業（営業担当）	・原油価格が上昇しているので非常に厳しい状態が続く。	
悪くなる	農林水産業（従業者）	・沖合底引き船団が8月お盆まで休漁となり、魚市場に水揚 される魚が少なくなる。巻き網船も漁が不振で活気づかな い。シーズンであるイカ釣り漁も不振で水産業の明るい話題 がない。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社 （支社長）	・求人件数が伸びている。
		求人情報誌製作会社 （支店長）	・自動車、電子部品関連の求人数が増加傾向にある。
		求人情報誌製作会社 （担当者）	・慢性的に人材が必要な企業が増加している状況が見受けら れる。
		民間職業紹介機関（職 員）	・相変わらず人手不足感が強くなお継続する。かたくなに年 齢制限を設けていた企業がそれを撤廃し、高齢層にも門戸を 開き人員不足を埋めようと努力をし始めた。
変わらない	人材派遣会社（経営 者）	・人材派遣の需要は引き続き堅調に推移しているが、今後特 に需要が増す要因はいまのところ見当たらない。	
	職業安定所（職員）	・原油価格高騰の影響で収益幅が減少するなど厳しい状況が 続いており、先行き不安から求人意欲も低調な状況が続く。	
	職業安定所（職員）	・公共事業の縮小から、建設業では人員整理を行う事業所が 多くみられるようになった。また、新規求人も、今月は減少 傾向である。しかしながら、来年3月卒業予定の高卒求人の 提出は好調である。	
	職業安定所（職員）	・大手企業を中心に昨年にまして採用意欲があるように思わ れる。その一方で中小零細企業においては経営困難から倒産 に追い込まれるところが出ている。	

	職業安定所（雇用開発担当）	・新規求人の増加傾向は当面続くと思われる。これまで増加要因が、派遣・パート求人に負うところが大きい傾向があったが、パート求人の増加に負うところが小さくなった。反面、正社員求人の増加も新規求人全体で見れば、顕著なものではない。また、有効求職者は4か月ぶりに減少したが、減少幅は小さい。
	やや悪くなる	-
	悪くなる	-